



## 2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年9月13日

上場会社名 モイ株式会社  
コード番号 5031 URL <https://about.moi.st/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤松 洋介  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 入山 高光  
四半期報告書提出予定日 2023年9月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

上場取引所 東

TEL 03-3527-1471

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年1月期第2四半期の業績（2023年2月1日～2023年7月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	3,203	△1.2	109	30.1	115	36.7	92	45.7
2023年1月期第2四半期	3,244	—	84	—	84	—	63	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	6.65	6.64
2023年1月期第2四半期	4.85	4.70

(注) 1. 当社は、2022年1月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年1月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2023年1月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2022年4月27日に東京証券取引所グロース市場に上場しており、新規上場日から2023年1月期第2四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	3,424	1,742	50.9
2023年1月期	3,375	1,638	48.6

(参考) 自己資本 2024年1月期第2四半期 1,742百万円 2023年1月期 1,638百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年1月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年1月期の業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,610	0.1	74	△28.5	74	△29.0	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期2Q	13,966,000株	2023年1月期	13,874,000株
② 期末自己株式数	2024年1月期2Q	一株	2023年1月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期2Q	13,966,000株	2023年1月期2Q	13,123,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向である一方で、物価上昇、世界的な金融資本市場の変動等の影響により、引き続き不透明な状況が継続しています。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、日本における2023年3月末時点の移動系通信の契約数は、2億1,084万回線（前年同期比3.7%増）と増加が続いております。（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（令和4年度第4四半期（3月末）」）。また、当社がターゲットとする動画投稿・ライブ配信市場においては、グローバルSNSプラットフォームにおけるライブ配信機能の浸透と、それに伴うサービス利用者の増加もあり、市場は今後も拡大していくことが予想されます。

このような事業環境のもと、当社では、ユーザー満足度の向上を目的として、当社サービス「ツイキャス」で利用可能な「もふピヨ」や「ポムポムプリン」といった人気キャラクターとのコラボスタンプの公開や、季節と連動したユーザー参加型プレゼントキャンペーンである「全国ふわふわ雨宿りキャンペーン」を実施しました。また、文化と経済の両面からプラットフォームの規模を拡大することを目指して、音声AIを活用することで日本語・英語での自動文字起こしが可能となったショート動画作成機能「クリップ」の公開や、オンライン共同視聴体験推進のための人気ホラー・アニメ作品等とのコラボレーション放送を継続しました。

その結果、当第2四半期累計期間においては、当社の重要指標の一つである月間平均ポイントARPPU（Average Revenue Per Paid Userの略、課金ユーザー一人当たりの平均課金額）は6,531円（前年同期比9.6%増）と堅調に推移しました。また、実質売上総利益（当社が獲得する売上高合計から、収益化された配信者に対してお支払する報酬額と、Apple Inc.、Google Inc.等の決済代行業者に対して支払う手数料を差し引いた金額）については、ポイント購入における決済手段比率の変化による決済手数料総額の減少と、配信者を毎月定額の会員費で応援することができる「メンバーシップ」の売上が引き続き成長したこと等の影響により、857,392千円（前年同期比5.8%増）となりました。一方で、月間平均ポイントPU（Paid Userの略、課金ユーザー数）は前年度からの減少傾向を回復するには至らず、76千（前年同期比10.9%減）となり、その結果、「ツイキャス」のポイント販売売上は2,976百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における実績は、売上高が3,203,691千円（前年同期比1.2%減）、営業利益は109,638千円（前年同期比30.1%増）、経常利益は115,934千円（前年同期比36.7%増）となり、四半期純利益は92,823千円（前年同期比45.7%増）となりました。

なお、当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載は省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期会計期間末における資産合計は3,424,891千円となり、前事業年度末に比べ49,822千円増加いたしました。

流動資産は3,042,154千円（前事業年度末比90,167千円増加）となりました。主な要因は、現金及び預金の増加182,450千円、預け金の増加27,399千円、その他に含まれる前渡金の増加20,939千円、売掛金の減少143,046千円等によるものであります。

また、固定資産は382,737千円（前事業年度末比40,345千円減少）となりました。主な減少要因は、減価償却費の計上による工具、器具及び備品の減少40,238千円等によるものであります。

#### （負債）

当第2四半期会計期間末における負債合計は1,682,096千円となり、前事業年度末に比べ54,273千円減少いたしました。

流動負債は1,682,046千円（前事業年度末比54,213千円減少）となりました。主な要因は、チケット・コンテンツの売買代金及びメンバーシップの会員費である預り金の増加33,516千円、未払法人税等の増加10,857千円、その他に含まれる未払消費税等の増加14,734千円、ユーザーへの支払報酬である買掛金の減少70,686千円、取引先への支払である未払金の減少43,109千円等によるものであります。

また、固定負債は50千円（前事業年度末比60千円減少）となりました。減少要因は、その他に含まれるリース債務の支払60千円によるものであります。

（純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,742,795千円となり、前事業年度末に比べ104,095千円増加いたしました。これは、減資による資本金の減少1,056,687千円、資本準備金の減少876,815千円、資本金及び資本準備金からの振り替えによる資本剰余金の増加1,067,959千円、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加92,823千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.9%（前事業年度末は48.6%）となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）の残高は、前事業年度末と比べ209,849千円増加し、1,985,667千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動により獲得した資金は、198,009千円（前年同期は49,333千円の資金の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上115,934千円、減価償却費の計上40,560千円、売上債権の減少額143,046千円、預り金の増加額33,516千円、仕入債務の減少額70,686千円、未払金の減少額43,109千円、前渡金の増加額20,939千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動により支出した資金は、215千円（前年同期は149,442千円の資金の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出215千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動により獲得した資金は、11,211千円（前年同期は627,642千円の資金の獲得）となりました。これは主に、株式の発行による収入11,272千円等によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期の業績予想につきましては、2023年3月13日公表の「2023年1月期決算短信」から変更はありません。今後、経営環境等の変化により業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,749,802	1,932,252
売掛金	1,169,336	1,026,290
預け金	26,014	53,414
棚卸資産	111	126
その他	6,959	30,307
貸倒引当金	△237	△237
流動資産合計	2,951,986	3,042,154
固定資産		
有形固定資産	250,847	210,502
投資その他の資産		
差入保証金	109,775	109,775
繰延税金資産	62,459	62,459
投資その他の資産合計	172,234	172,234
固定資産合計	423,082	382,737
資産合計	3,375,069	3,424,891
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	801,269	730,582
未払金	368,457	325,347
前受金	148,705	150,454
未払法人税等	12,482	23,339
預り金	387,973	421,489
その他	17,371	30,833
流動負債合計	1,736,259	1,682,046
固定負債		
その他	110	50
固定負債合計	110	50
負債合計	1,736,369	1,682,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,106,687	50,000
資本剰余金	876,815	1,944,774
利益剰余金	△344,802	△251,979
株主資本合計	1,638,699	1,742,795
純資産合計	1,638,699	1,742,795
負債純資産合計	3,375,069	3,424,891

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	3,244,149	3,203,691
売上原価	1,627,795	1,610,764
売上総利益	1,616,354	1,592,927
販売費及び一般管理費	1,532,062	1,483,289
営業利益	84,291	109,638
営業外収益		
受取利息	5	9
受取手数料	—	5,068
為替差益	—	844
雑収入	767	374
営業外収益合計	773	6,296
営業外費用		
為替差損	260	—
営業外費用合計	260	—
経常利益	84,804	115,934
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	84,804	115,934
法人税等	21,117	23,111
四半期純利益	63,687	92,823

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	84,804	115,934
減価償却費	29,545	40,560
固定資産除却損	—	0
為替差損益 (△は益)	260	△844
受取利息	△5	△9
受取手数料	—	△5,068
売上債権の増減額 (△は増加)	30,558	143,046
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△145	△15
前渡金の増減額 (△は増加)	△35,444	△20,939
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,796	△2,660
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	147	251
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68,772	△70,686
前受金の増減額 (△は減少)	11,798	1,748
預り金の増減額 (△は減少)	58,255	33,516
未払金の増減額 (△は減少)	19,232	△43,109
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△30,988	4,349
小計	95,449	196,074
利息の受取額	5	9
受取手数料の受取額	—	5,068
法人税等の支払額	△46,122	△3,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,333	198,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△142,393	△215
保証金の差入による支出	△7,048	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,442	△215
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△60	△60
株式の発行による収入	627,702	11,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	627,642	11,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	△260	844
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	527,272	209,849
現金及び現金同等物の期首残高	1,309,010	1,775,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,836,282	1,985,667

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、当第2四半期累計期間において、第1回及び第2回新株予約権の行使による払込みを受けました。

また、当社は、2023年4月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、2023年6月2日付けで減資の効力が発生し、当第2四半期累計期間において資本金が1,067,959千円、資本準備金が876,815千円減少し、この減資額全額をその他資本剰余金に振り替えました。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が50,000千円、資本剰余金が1,944,774千円となっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年7月31日）

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年7月31日）

当社はライブ配信コミュニケーションプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントに関する記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。